

報道関係各位

2015年12月15日

地域社会と連携しながら継続して環境美化に取り組む全国の学校を表彰

「第16回 環境美化教育優良校等表彰事業」 小学校、中学校の活動で最優秀校4校ほか決定

【最優秀校】

文部科学大臣賞	広島県	福山市立 ^{はっとり} 服部小学校
農林水産大臣賞	石川県	七尾市立 ^{てんじんやま} 天神山小学校
環境大臣賞	青森県	八戸市立 ^{たねさし} 種差小学校
協会会長賞	徳島県	海陽町立 ^{ししくい} 宍喰小学校

清涼飲料・ビールなど飲料業界6団体で構成する、公益社団法人食品容器環境美化協会（略称：食環協、会長：塩澤 賢一）では、今年度の「環境美化教育優良校等表彰事業」において、都道府県より推薦を受けた全国の小・中学校の中から最優秀校4校、優秀校6校、優良校30校を選定し、表彰いたします。

この表彰事業は、地域社会と連携しながら環境美化教育に独創的・継続的かつ熱心に取り組み、「公共の場所の美化」または「飲料あき容器等のリサイクル」を実践し、地域の環境美化に大きく寄与している小・中学校等を選出し表彰するものです。

最優秀校4校は、都道府県の推薦によって選出された中から審査会による厳正な審査を経て、「文部科学大臣賞」「農林水産大臣賞」「環境大臣賞」「協会会長賞」を決定いたしました。

今年のトピックは、平成25年に国立公園に指定された種差海岸沿いに位置する青森県八戸市立種差小学校の受賞。同校では、国立公園指定の約20年も前からコツコツとゴミゼロを目指して海岸清掃活動に取り組んでいます。さらに、地域住民や団体、高校生たちとともに海岸に繁殖する特定外来生物オオハンゴンソウの駆除を実施。活動の輪が広がり、美化活動が観光客へのおもてなしの心を育む地域おこしにまで発展している取り組みが高く評価され、今回の受賞に至りました。

本年度の表彰式は2016年1月29日（金）東京スカイツリーが一望できる「浅草ビューホテル」（東京都台東区）にて、最優秀校4校を招いて開催いたします。

式典では、各受賞校の美化活動の様子をインタビュー映像やスライドで紹介しながら、生き生きと取り組む児童、教師の思い、地域住民の意気込みなどをお伝えしてまいります。



公益社団法人食品容器環境美化協会は、1973年に設立されて以来42年の間、飲料容器の散乱防止とリサイクル推進の啓発を中心とした環境美化の推進に努めています。日本の環境が美しくなることを実現するため「環境教育の支援」、「ポイ捨て防止の啓発」、ならびに「アダプト・プログラムの推進」などの事業を展開しています。

当協会の「環境美化教育優良校等への表彰」は、「環境美化教育の助長」及び「地域の環境美化の啓発」を目的に2000年度に発足し、今回が16回目となります。

その間、地域の環境美化やリサイクル推進を積極的に取り組む小中学校を表彰し、当該学校の児童生徒の活動を励ますとともに、広くその活動を紹介してきました。また、この表彰を通じ、環境美化教育の全国における活性化にも寄与してまいりました。

環境教育への取り組みが年々重要になる中で、本年も全国の都道府県から、環境美化教育に独創的かつ熱心に取り組む、校内だけでなく地域とともに環境美化に大きく貢献した活動を実践している優秀な小・中学校が多数推薦されました。これら各校の活動内容を、審査委員が厳正に審査した結果、このたび4校が最優秀校、6校が優秀校、30校が優良校として選定され、表彰の運びとなったものです。

■本年度の各都道府県からの推薦状況

第16回は、環境美化につながる散乱防止活動またはリサイクル推進活動を継続している小学校・中学校から都道府県が1校を推薦する方式

	合計
推薦があった都道府県数	40
推薦校数	40

■本年度審査結果

審査委員会による審査の結果、受賞校を以下の通り決定

	受賞校数
最優秀校	4
優秀校	6
優良校	30

最優秀校に選ばれた4校の活動概要およびその他各賞の受賞校は以下の通りです。

■最優秀校の活動概要

散乱防止活動またはリサイクル推進活動	
文部科学大臣賞	<p>広島県 福山市立服部<small>はっとり</small>小学校</p> <p>ため池百選認定の「服部大池」や、ホタルが舞う服部川が近くにある豊かな自然環境に恵まれた同校では、ホタルの里を守るために、児童と地域住民が協働でさまざまな活動に取り組んでいる。昭和 50 年から続くアルミ缶やスチール缶などの資源回収をはじめ、服部川の清掃活動や水質・生き物調査など児童が主体的に取り組み、環境美化に広く貢献。平成 3 年に地域住民が結成した「服部の自然を守る会」や町内会の協力を得て、ホタル学習がスタート。児童は住民に教わりながら、ホタルの捕獲から飛翔数調査、産卵、飼育、幼虫放流まで年間を通して保護活動に励む。学習したことは地域イベント「ほたる祭」で発表し、環境保全の大切さをアピール。また、児童の間で代々受け継がれているアクリルたわしづくりは、川を汚さない取り組みのひとつで、「洗剤の代わりに使ってほしい」と住民などに配布して協力を呼びかけている。エフピコや中国電力などの企業や行政による環境学習支援も活発で、児童は地域の一員としての役割を自覚している。</p>
農林水産大臣賞	<p>石川県 七尾市立天神山<small>てんじんやま</small>小学校</p> <p>七尾湾に注ぐ大谷川の源流エリア、城山のふもとに位置する同校。以前の大谷川の下流はごみが散乱して濁り、港付近の海も汚れていたが、地域一体となって大谷川や城山の清掃活動を展開することでごみが減少してきた。平成 21 年に七尾市が環境学習発表会を開催したのを契機に、6 年生を中心にごみの散乱防止に向けた活動が活発化。さらに、平成 23 年に能登の里山里海が世界農業遺産に認定されたことにより、地域と連携した環境美化活動に発展した。そのひとつが、「健全パトロール」。児童と住民が月 2 回校区を巡視しながら資源ごみ回収を行う長年にわたる活動で、地域からは環境が良くなったと称賛の声が挙がっている。また、児童が手づくりした環境新聞を配布、地域の製材所の協力のもと、児童発案の木製ごみ箱を公民館に設置するなど、児童から地域へ環境保全の発信を積極的に行っている。空き缶などの資源回収活動も盛んで、住民の意識が向上。</p>
環境大臣賞	<p>青森県 八戸市立種差<small>たねさし</small>小学校</p> <p>平成 25 年に国立公園に指定された種差海岸沿いに位置する同校では、指定を受ける 20 年近く前から海岸清掃に取り組んでいる。「海岸ゴミゼロ」と名付けられたこの活動は、観光名所にもなっているエリアの資源ごみを回収分別することで、観光客への「おもてなし」の心をはぐくむ取り組みに直結。さらに、住民団体や高校生、自衛隊など 10 団体の協力を得て、種差海岸沿いに繁殖する特定外来生物「オオハンゴンソウ」の駆除を実施。こうした美化活動を機に、アルミ缶などの資源回収、校舎内を自主的に清掃する児童が増加した。地域住民も学校花壇の整備活動に協力するようになるなど、活動の輪が広がっている。昨年からは、地元の海の幸を取り入れた「種差お菓子づくりプロジェクト」が始動。児童が、民宿や漁業関係者、菓子店とともに、特産品のふのりや海藻を使ったお菓子を作成し、本格販売する予定だ。環境美化の意識向上が地域おこしに発展。</p>
協会会長賞	<p>徳島県 海陽町立穴喰<small>ししくい</small>小学校</p> <p>校区内にある竹ヶ島海域公園は、エダミドリイシサンゴの群生地、希少生物の生息地として知られる。その自然を自分たちで守ろうと、10 年以上にわたって海岸清掃活動に取り組んでいる。きっかけは、平成 16 年に開始した環境学習で、「海の環境が悪くなっている」という現状を住民や漁業関係者から聞きとったことにさかのぼる。以来、ゴミゼロを目指して住民とともに海沿いの資源ごみ回収分別を行ったり、校区内清掃をしたりして環境意識を高めている。また、漁協組合員の協力のもと、減少したエダミドリイシサンゴを海底に移植する保全活動も実施。サンゴの減少は水質の悪化が深く関係することから、児童は竹ヶ島や近隣の海、そして同校近くを流れる穴喰川の水質・生物調査を行い、調査結果などを詳細にまとめて「穴喰自然新聞」を作成し、地域へ発信している。年 8 回の資源回収にも励みながら、郷土を愛しみ自然をはぐくむ心が育っている。</p>

■その他受賞校：

<優秀校> 協会会長賞 6校

岐阜県	大垣市立西部中学校	京都府	福知山市立成和中学校
鳥取県	八頭町立 ^{こおげ} 郡家東小学校	高知県	高知市立横浜中学校
熊本県	八代市立 ^{ひなぐ} 日奈久小学校	宮崎県	串間市立市木小学校

<優良校> 協会会長賞 30校

北海道	網走市立第四中学校	岩手県	雫石町立 ^{おみょうじん} 御明神小学校
宮城県	石巻市立石巻小学校	山形県	南陽市立赤湯小学校
福島県	川俣町立富田小学校	茨城県	つくば市立さくら学園桜中学校
栃木県	鹿沼市立北押原中学校	群馬県	みなかみ町立月夜野中学校
埼玉県	鶴ヶ島市立栄小学校	千葉県	市川市立大洲中学校
東京都	清瀬市立清瀬小学校	新潟県	糸魚川市立下早川小学校
富山県	砺波市立 ^{あすみ} 砺波南部小学校	福井県	南越前町立南条中学校
山梨県	富士吉田市立 ^{あすみ} 明見中学校	長野県	松本市立会田中学校
静岡県	裾野市立東小学校	愛知県	あま市立甚目寺南中学校
大阪府	千早赤阪村立中学校	兵庫県	神戸市立有馬小学校
奈良県	香芝市立香芝西中学校	島根県	出雲市立湖陵中学校
山口県	田布施町立田布施中学校	香川県	坂出市立府中小学校
愛媛県	松山市立味酒小学校	福岡県	北九州市立白野江小学校
佐賀県	小城市立三里小学校	長崎県	平戸市立平戸小学校
大分県	豊後高田市立真玉中学校	鹿児島県	南さつま市立金峰中学校

■表彰授与

●最優秀校4校の表彰式は、下記にて行います。

2016年1月29日(金) 16:00~17:40 (受付 15:00~)

浅草ビューホテル 3階「祥雲の間」

東京都台東区西浅草3-17-1 電話03-3847-1111

<http://www.viewhotels.co.jp/asakusa/> *つくばエクスプレス「浅草駅」直結

懇談会 18:00~19:30 (予定) 28階「ベルヴェデーレ」

●優秀校ならびに優良校については、後日、各都道府県において表彰状等を伝達します。

環境美化教育優良校等表彰事業の概要

- 主 催：公益社団法人食品容器環境美化協会
- 後 援：文部科学省、農林水産省、環境省
- 表彰の対象：環境美化教育に独創的・継続的かつ熱心に取り組み、「公共の場所の美化」または「飲料あき容器等のリサイクル」を実践し、地域の環境美化に大きく寄与している小・中学校、およびこれに準ずる小中学生の団体
- 表 彰：
- | | | |
|------|---------|----|
| 最優秀校 | 文部科学大臣賞 | 1校 |
| 最優秀校 | 農林水産大臣賞 | 1校 |
| 最優秀校 | 環境大臣賞 | 1校 |
| 最優秀校 | 協会会長賞 | 1校 |
- ・賞状と副賞を贈呈
- ・上記の他、「優秀校」、「優良校」に対し、協会会長賞と副賞を贈呈
- 応募・推薦・審査：
- 【最優秀校・優秀校・優良校】
- 都道府県の環境整備主管部局、または教育主管部局が推薦する小中学校を審査委員会で審査し、表彰する
- 審査委員：
- [審査委員長] 小澤 紀美子 東京学芸大学名誉教授・東海大学大学院客員教授
- [審査委員]
- | | |
|--------|--|
| 柏木 順二 | 公益財団法人 日本環境協会 専務理事 |
| 國分 重隆 | 全国小中学校環境教育研究会 会長 |
| 小山 博敬 | 公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会
代表理事専務 |
| 小島 あずさ | 一般社団法人 JEAN 事務局長・副代表理事 |
| 矢崎 哲夫 | 公益社団法人食品容器環境美化協会 企画委員
サッポロビール株式会社 総務部 シニアマネージャー |
| 吉田 直之 | 公益社団法人食品容器環境美化協会 企画委員
株式会社ヤクルト本社 広報室 CSR推進室 主事 |

(敬称略)

公益社団法人食品容器環境美化協会の概要

1973年(昭和48年) 任意団体「食品容器環境美化協議会」として発足

1982年(昭和57年) 社団法人「食品容器環境美化協会」(農林水産大臣設立認可)
設立以来42年間、飲料容器の散乱防止など、国土の環境美化の推進に努め、公共の福祉の増進に資するため、各種啓発活動を行っている公益法人です。

2011年(平成23年) 公益社団法人「食品容器環境美化協会」(内閣府認可)

公益法人制度の改革に伴い、内閣総理大臣から公益社団法人の認定を受け、「公益社団法人食品容器環境美化協会」として再発足しました。

- 主な活動 : ○新しいまち美化手法「アダプト・プログラム」の普及と推進活動
○小・中学校でのパソコン学習支援サイト「まち美化キッズ」の運営、
教育者向け「環境美化 学習のガイド」の制作提供等の次世代への
環境教育支援 <http://www.kankyobika.or.jp/kids/index.html>
○市民団体等への環境美化活動の支援
○「ポイ捨て防止」啓発活動
○散乱ごみ対策の調査・研究 等

- 構成団体 : 一般社団法人 全国清涼飲料工業会 <http://j-sda.or.jp/>
清涼飲料メーカーなど48会員94社、組合会員28会員241社、賛助会員106社からなる社団法人
一般社団法人 全国トマト工業会 <http://www.japan-tomato.or.jp/>
トマト加工製品メーカーなど35社からなる社団法人
一般社団法人 日本果汁協会 <http://www.kaju-kyo.ecnet.jp/>
果実飲料メーカーなど126会員からなる社団法人
日本コーヒー飲料協会
コーヒー飲料メーカーなどからなる任意団体
コカ・コーラ協会
日本コカ・コーラ社、全国のコカ・コーラボトラーズ社およびコカ・コーラカスタマーマーケティング社からなる任意団体
ビール醸造組合 <http://www.brewers.or.jp/>
アサヒ、キリン、サッポロ、サントリー、オリオン(沖縄)のビール5社による特別認可法人

■本件に関するお問い合わせ先■

公益社団法人食品容器環境美化協会 (食環協)

〒108-0023 東京都港区芝浦2-15-16 田町K.Sビル6階

TEL. 03-5439-5121 FAX. 03-5476-2883

ホームページ <http://www.kankyobika.or.jp/>